

ぼくが生きるこの世界

同じものはない

大きなものから小さなもののできる

それはまるでブドウのようで

形が違う 実が集まり

皆になる房みたい

『ブドウの実』より抜粋  
作詞 KURO (HOMEMADE家族)  
作曲 Tony23 BIG LUCK  
歌 SUPLIFE代表 美保

インクルーシブとは

「あらゆる人が孤立したり、

排除されたりしないよう援護し、

社会の構成員として包み、支え合う」

それってどんなこと？

知らないを知ることが  
ぼくらを作ってく

インクルーシブの種を蒔こう

vol.2

## Index

ダウン症のあるかのんちゃんの日常	SUPLIFE 美保	1
かのんちゃんにしつもん		9
小学校の生活支援員T先生インタビュー		11
障がいがあっても通常学級に通った平田カズキくん		15
インクルーシブ社会って？	龍円 あいり	19

はじめに



はじめまして。

エンタメで障がいのある子、ない子を繋ぐ活動をしているNPO法人SUPLIFEの美保です。長女・ひまり(小3)と次女・かのん(小1)の姉妹を育てています。かのんにはダウン症があります。

かのんを育てる中で、社会の壁を幾度となく感じてきました。保育園も入園が難しかったり、地域の小学校へ通うのも難しかったり。

この理由は社会システムにもありますが、「障がいのある人を知らない」「どうやってコミュニケーションをとっていいかわからない」などの不安も大きいのかもしれないなど感じています。

今かのんは、地域の小学校の通常級へ通っています。最初はいろいろあり、1学期は私が付き添いました。校長先生はじめ担任の先生、学校にいるほとんどの大人が「お母さんありがとうございます。」と声

をかけてくれて、学校全体でかのんを知ろうとして下さり、一緒にどうしたらいいか考えてくれた期間でもあります。

これを手にとって下さった皆さんに、私が垣間見た「障がいのある子とない子が共に生きているリアル」を少しですが、お届けできたらと思っています。

障がいのある子とない子が混ざり合ったとき、うまくいかないことがたくさん出てきます。でも、共に育ち合うことで、うまくいかないことさえもただの日常になっていくことが伝わると嬉しいです。



# かのんちゃんはどうしてお話しできないの？

しょうがっこう にゅうがく こ 小学校に入学して子どもたちの最初の質問でした。

「しゃべれないし、赤ちゃんみたいなのに同じクラスにいて、この子  
なんか変！」

そんな言葉や雰囲気<sup>あか</sup>に心を閉ざしたかのんは、口を真一文字<sup>まいつぶ</sup>に固く  
結び「絶対<sup>ぜったい</sup>しゃべらない！」と学校で話すのをやめました。

かのんには「大丈夫だよ。自信<sup>じしん</sup>をもって！」と励まし、まわりの子ども  
たちには「お話しは苦手<sup>にがて</sup>なんだけど、みんなの言ってることは分かる  
よ！」と説明しました。

1か月も経つ頃<sup>ころ</sup>でしょうか？ 日直<sup>にちちよく</sup>さんが  
「今日<sup>けふ</sup>のよかったことを発表<sup>はっぴよう</sup>してください」というと「はい！」と元気  
よくかのんが手をあげました。



びっくりして私が焦<sup>あせ</sup>ってしまって、「いやいやかのん、しゃべれない  
じゃん！」とアワアワしていたら日直<sup>にちちよく</sup>さんが「あ！かのんちゃん！でも  
なに言<sup>い</sup>ってるか僕<sup>ぼく</sup>分かるかなー？」とニコニコ言いながら指名<sup>しめい</sup>してくれま  
した。

かのんは自信<sup>じしん</sup>をもって立ち上がり、囁語<sup>ささや</sup>で今日<sup>けふ</sup>のよかったことを  
発表<sup>はっぴよう</sup>！担任<sup>たんんにん</sup>の先生<sup>せんせい</sup>もフォローしてくれて、クラスみんなで「よかったで  
すね」と言<sup>い</sup>ってくれました。ガッツポーズ<sup>がッツぽうず</sup>で喜ぶかのん。かのんが囁語<sup>ささや</sup>  
で今<sup>いま</sup>でも嬉<sup>うれ</sup>しそうにみんなに話<sup>はな</sup>しかけているのは、クラスのみんなか  
ら、たくさん自信<sup>じしん</sup>をもらっているから。

そしてそろそろ2学期<sup>がっき</sup>が終わろうとしています。

「ねえ、かのんちゃん、とっても日本語<sup>にほんご</sup>上手<sup>じょうず</sup>になったよね！お家<sup>うち</sup>  
で練習<sup>れんしゅう</sup>しているの？」と子どもたちに聞<sup>き</sup>かれます。

「上手<sup>じょうず</sup>になってきた？ありがとう！嬉しいな！」とお礼<sup>れい</sup>をいっていま  
すが、実はみんながかのんの囁語<sup>ささや</sup>を聞き取れるようになったんだよ、  
みんなすごいな。って思<sup>おも</sup>っています。



# かのんちゃんは何の病気？

ある日、同じクラスのお友達から「かのんちゃんは何の病気なの？」と聞かれます。

そうすると、まわりの子も「え？ かのんちゃんは病気なの？ 難病？ だからお母さん一緒にいるの？ 薬はあるの？ きっといつか治るよ！」とみんなが心配し始めました。

これまでNPO法人での活動で「共に育ち合う中で自然とお互いを知る」ことに重きを置いてきた私には衝撃が走りました。

私は自分が子どもの頃、ダウン症のある幼馴染と一緒に遊んだり学校に通ったりしていましたが、違いのあることになんの疑問も持たなかったのです。小さい頃から一緒にいれば、違いも当たり前になると思っていたのですが、私のようなタイプもいれば、違いに疑問を持つ子もいる。



子どもたちの、なんで？ どうして？ の疑問に、きちんと答えるべきなのではないか？ と考え始め、「あいちゃんのひみつ」というダウン症のことが詳しく書いてある絵本を子どもたちへ読ませてもらえませんか？ と先生をお願いしたところ、「いいですね！」とおっしゃってくださり、実現しました。

ダウン症という障がいについてしっかり書いてある本を子どもに読むには難しいのではないかと偏見が生まれるのではないかとおもっていましたが、どの子もそのまましっかり受け止めてくれたように感じています。

病気？ と最初に聞いてくれた子は、絵本を読み終わった後、「あいちゃんのひみつを読んでくれて、ダウン症のことを教えてくれてありがとう」とお礼を言いに来てくれました。

みんな普段はかのんにダウン症があることはすっかり忘れているようです。偏見を特に感じることもなく、かのんがみんなと同じように出来ないことは受け入れてくれており、困っていれば自然と手を差し伸べてくれます。



# マイノリティがマイノリティではなくなること



「かのんちゃんのランドセル持ってきていたよ！〇〇君にお礼言  
て」とか「みんなと同じ算数のノートで勉強したいって言ってるよ！」と  
子どもたちが教えてくれます。

「かのんちゃん、こんなことが成長しましたよ！」「かのんちゃん  
頑張ってみなと一緒に課題に取り組んでいましたよ！」と日々教えて  
くれる担任の先生やサポートの先生が見守ってくれています。

学校のスタートは、思いっきりマイノリティだった私たち親子。

多くの人からみたら「普通じゃない」学校生活は、いつのまにか「障  
がいのあるかのんがいることが当たり前」になり、私がクラスにいるこ  
とも「当たり前」になり、違いを認めてくれるかのんのクラスでは、マイ  
ノリティがマイノリティではなくなりました。かのんのクラスのみなの

おかげで、「共に生きることの本当の意味」を初めて知れた気がします。

社会もこんなふうにつくられていくことを祈って、学校や地域の皆さん  
と生きていけたらと思っています。

私は今は付き添いしていませんが、まだまだ問題は山積みで、イン  
クルーシブ教育は今のシステムだととても難しいと感じることもあり  
ます。

でも、インクルーシブは、システムだけではなく、人と人の繋がりや優  
しさ、お互いの理解で出来るものなんだとも感じています。

違いがある者同士が共に生きる。

これは簡単なことではないです。

なぜならたくさん問題が出てくるからです。

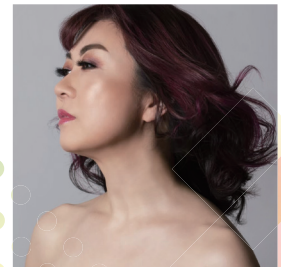
だけど難しくそうにみえることも、人の知恵と工夫と優しさで乗り越え  
られるんだと、たくさんの人から教えてもらっています。

NPO法人 SUPLIFE

代表 美保



SUPLIFE\_MIHO



写真：加藤 友美子  
ヘアメイク：mico

かのんちゃんに  
しつもん

なんじ ね  
何時に寝てるの？



みずな みずか

なんじ お  
何時に起きてるの？



かのん

じ ね  
8時に寝るよ

じ お  
5時に起きるよ

お なに  
起きたら何してるの？



みずな みずか

かおあら は みが  
顔洗って歯を磨いて、テレビつけて、  
みんなが起きてくるまで  
のんびり一人の時間を楽しんでるよ

す どうぶつ  
好きな動物は？



かんだ

ハギーワギー



かのん

ば もの わら  
それ化け物だね！ 笑



かんだ

なーと、かーより  
すごいね！



かのん



みずな みずか

はるとと  
なに  
いつも何やってるの？



ゆいと

ふだん  
普段のはるとからは  
そうぞう  
想像できない



ゆいと

はな  
話してるのに  
つた とき つら  
伝わらない時が辛いよ



かのん

びょういん  
なんで病院  
い  
行ってるの？



はると

へえ、そうなんだあ



はると

とくべつ なに  
特別なことは何もしてなくて、  
よことお とき  
かのんの横を通る時に、  
あたま  
頭をポンポンしたりしてるよ



かのん

つら  
辛いことはある？



ゆいと

かな  
それは悲しいよね



ゆいと

め み  
目が見えにくかったり、  
みみ き  
耳が聞こえにくかったり、  
へんぺいそくきょうせい  
扁平足を矯正するためのインソールを  
つく  
作ったり、  
ぜんそく びょういん  
喘息があるから病院へ行ってるよ。  
ねん いったい おお けんさ  
年に一回は大きな検査もしているよ！



かのん

# 小学校の生活支援員T先生が 初めて経験する、 障がいのある子・ない子が 共に過ごす小学校生活とは？

かのかんちゃんしょうがっこうせいこうの小学校生活をサポートしてくれている生活支援員せいこうしえんいん（サポートが必要な児童への介助や学習支援、安全の確保などを行う職員）のひとり先生が、ダウン症のあるかのかんちゃんとクラスの子どもたちの小学校生活を通して感じるそれぞれの成長、育ち合うということとは？

支援員のT先生にインタビュー形式で伺いました。

## なぜ、小学校の支援員をしているの？

Q：特別支援教員を目指すきっかけは？

T：大学入学当時は特別支援学校をまだ知らず、中学校・高校の教員を目指していた。実習で特別支援学校での介護体験があり、初めて障がいのある方と接した。自分の知らない世界だったため、もっと知りたいと思い、放デイ（放課後等デイサービス）でのアルバイトを本格的に始めた。

Q：実際に障がいのある子どもたちと関わってどんな気持ちだったか？  
またどんな経験を得たか？

T：最初の印象としてはコミュニケーションが取れるのだろうか？と  
思っていたが、実際には思っていたよりも障がいのない人たちと変わらな  
いと感じた。

自閉症のある子とは最初は全然コミュニケーションが取れずなかなか  
か心を開いてもらうことが出来なかったが、最後に少し心を開いて  
くれたのが印象的だった。

自閉症のある子やダウン症のある子が心を開いてくれるまでには  
時間がかかるが、諦めずに関り続けることで徐々にこちらに興味  
を持ってくれる。その積み重ねから子どもが自ら心を開いてくれる  
瞬間はとても嬉しいし、印象深い。

Q：特別支援教員を目指すなかで、通常級での支援員をされるきっかけ  
は？

T：児童発達支援センターでも支援を行っていたが、その際に就学判定  
で通常級・支援級どちらの判断になるか微妙ないわゆるグレーゾ  
ンの子どもが多かった。初めてグレーゾーンの子と関わり、もっと関  
わりたいという想いが強くなったため。

Q：インクルーシブ教育（＝明確にちがいの子どもが通常級で学ぶ）  
というものを知っていたか？インクルーシブ教育の最初の印象は？

T：知識としては知っていたが教科書等の書籍を読んだ程度で、これま  
で深く考えたことはなかった。自分にとって、かのかんちゃんの過  
去学校での支援が初めてのインクルーシブ教育となり、いろいろと感  
じることがある。



Q : インクルーシブ教育を最初どのように感じた？

T : 東京都は制度としてインクルーシブ教育が成り立っていないので、やっていけるのか？と感じた。

## 小学校でのかのんちゃんやクラスの様子

Q : かのんちゃんの小学校での支援員を始めて変わったことは？

T : インクルーシブ教育に対する印象が変わった。子どもたち同士、それに関わる大人の接し方次第で上手くいくときもあれば、そうでないときもあると感じた。現在は上手くいっている（かのんちゃんや支援員の関係）、インクルーシブ教育は意味のあるものと感じている。

Q : かのんちゃんの支援を始めて想像と違っていたことは？

T : 最初、ダウン症のあるお子さんと聞きクラスの輪に入れるのか不安に感じていたが、実際はクラスの輪に入っている。かのんちゃんもクラスメートも共にコミュニケーションをとうろうとしている姿が見える。支援員が距離を置いた見守りの中でも、自発的にコミュニケーションが行われている。

Q : クラスメートとかのんちゃんとの関わりのエピソードは？

T : かのんちゃんが何をしても気にしない。あとでこっそり「どうしたの？一緒に行こう」と声をかけて一緒に行動している。休み時間にかのんちゃんと一緒に遊んでいた子が先生に呼ばれてひとり教室に戻ってしまった。その子のかのんちゃんを置いてきてしまったのではないかと気にしてなかなか教室に入らなかったという話を先生から聞いた。

Q : かのんちゃん自身の変化を感じる？

T : はい。最初、関係性を築いているときは穏やかだったが、ある程度関係ができるとぶつかっても多くなる。が、今はそれも乗り越えた。最近では、支援員(T)の話を聞くこととする姿勢をとってくれるようになり、本気のイヤ・やりたくないも減った。そういう意思表示はあるが回数は減少しているし、表情に笑みが入っている。「(T)先生が行くなら自分も行こう」と、否定から入らない姿にも大きな変化を感じている。

Q : 改善が必要と感じた部分はある？

T : 学習面は課題があると感じている。みんながしゃべっている場所で集中することは難しい。かのんちゃん自身に意欲があることは感じるが、あの場所で学習することは難しく、予想していた通りだった。

Q : これまで出会った子どもたちやかのんちゃんとの関わりを通じて、この先どんな先生を目指す？

T : 子どもをよく見て、一対一でなくても些細なところに気づけること。その子の将来から逆算し、今その子に必要なことを考えたい。

せんせい  
T先生

とくべつしえんきょうしけんめい  
特別支援教員を目指して勉強中。  
げんざいほうかごとう  
現在、放課後等デイサービスや小学校生活支援員として勤務。



## しょう 障がいがあっても

## つうじょうがっきゅう かよ ひら た かず き 通常学級に通った平田和毅くん

ほっかいどうあさひかわし ひら た えつ こ むす こ カズキくんは重い知的  
しょう 障がいと自閉症があります。

●しょう とくせい 障がい特性があるなしで、まな ば 居場所が振り分けられるのって、変  
じゃない?!

●おや な 親亡きあと、カズキがちいきで生きていくためにはみんなにささえてもらう  
かんきょう 環境づくりが必要。そのためにはつうじょうがっきゅう  
通常学級しかない。

●とくべつし えんがっきゅうせき し えん 特別支援学級籍のままでは支援の先生が付きっきりになり、ともだち  
関係づくりの壁になる。

このような理由から、かれ ちゅうがくせい 彼が中学生になったとき、し えんがっこう 支援学校や支援級では  
なく、つうじょうがっきゅう 通常学級で学ぶことを選んできました。

カズキくんのたん にん 担任になったそ が べ まさひろせんせい 曾我部昌広先生は、しょう 障がい児を受け持つこと  
ははじめてのけん 経験で、最初はと 戸惑うこともあったそうです。

しかしカズキくんのけん 件で困ったことがあったとき、クラスのせいと 生徒に相談  
をしてみると「カズはきっとこうなんじゃないか」と、子どもたちの方がカ  
ズキくんについて理解していることを思い知ります。



とも 友だちとゲームセンターにて



ホームパーティー

カズキくんのそのままを見守り、よ 添おうとするそ が べ せんせい 曾我部先生とクラス  
メイトのなかで、カズキくんはしだい 次第に学校での表情が豊かになっていきま  
した。またクラスぜんたい 全体としては、たにん 他人に対しておたがひ 相互を理  
解し合おうという姿勢を持ち、きんきょう 勉強を教え合い、クラスのせいと 成績が  
上がったということです。

インクルーシブ教育の良さととはいつたい 一体なんでしょうか。

カズキくんとすごしたクラスメイトたちがカズキくんのことをどのよう  
にかんが 考えているのかたず 尋ねてみました。

カズキくんについてほうそう 放送した  
TBS報道特集の動画はこちら  
(2022/4/23放送分)

しょうがい 障害がある子もない子も、ともに学ぶ「インクルーシブ教育」。  
とくべつし えんがっこう 特別支援学校に通う子どもが増えるなか、しょうがい 障害の有無によってかんきょう 環境を分ける  
ことなく同じ場で学ぶ現場取材した特集。





## カズキについて、 どう思う？

… 子どもたちの声 …

カズは個性的な人のひとりであり、みんなと全然変わらない。

「決めつける」のではなく、「やってみないとわからない」という考えに変わった。

相手は何を考えているのだろうと一人ひとりが考えるようになり。お互いを理解し合うクラスになった。

クラスのみんあの気配り、思いやりがすごくて、他のクラスよりもあたたかい！

カズがいつも良いタイミングで何かを言って、場を明るくしてくれた。

カズは「障害者」ではなく、同じ「仲間」として特別扱いすることがなくなった。

カズと暮らせたことが、いちばんの思い出！

クラスのみんたと協力して全員で達成したときの喜びは計り知れなかった。カズはみんなの成長に貢献していると思った。

はじめはマイナスイメージしかなかったが、立ち歩いたり大声を出すことも白に白に気にならなくなった。

カズが休んだ日は何か物足りなく。

カズと出会わなければ、障害者に対して差別していたと思う。

今までカズの様な障害者を「普通ではない」と思っていたが、今は「普通だ」と思っている。このことは平凡だったら気付かなかった。僕はカズと出会って成長できた。

## 曾我部 昌広 先生

3年間、毎日色々なことが起こり、そのたびに「カズはどう感じているのだろう？」と生徒と一緒に考えながら進んできた。

そこで自然にできた一体感・絆はとても強く、また多くの感動場面が生まれた。「しょうがいがあるから無理！大変！」ではなかった。

一緒に過ごすことでしか得られなかった感動は、卒業後も、私や生徒たちの心にずっと残る、大切なものだと思信している。

## 平田 和毅

そまめ(曾我部)先生、ともだち、マル！



学校祭

## 平田 江津子

曾我部学級、万歳！！

曾我部先生、クラスのみんな、カズキと家族に幸せをありがとう——♡♡

## 曾我部 昌広

北海道上川郡美瑛町生まれ。旭川市在住。普通学級において、重度自閉症+知的障害のカズキの担任を三年間務めた。「相手の立場に立って、理解し合う心」を何より大切にしている現役の中学校教員。

## 平田 江津子

北海道広尾郡大樹町生まれ。旭川市在住。市民団体「障害児も地域の普通学級へ・道北ネット」事務局長。つれあいは同ネット代表。一男三女の母。



# インクルーシブ社会って？

りゅうえん  
龍円 あいり

## # インクルーシブな社会にしたい

「それなに？ 意味分からない」と若い世代からばったり、「なんでもカタカナを使うのはやめなさい」と上の世代から時々お叱りを受ける。

「インクルーシブ」という言葉は、まだまだ日本で一般的に知られる言葉になっていない。元アナウンサーという職業柄、“誰にでも伝わる言葉”を使うようにしたいと思うのだが、ばっちり同じ意味のわかりやすい日本語がないのだ。

辞書によるとインクルーシブは「すべての含んだ」と和訳される。しかし「すべてを含んだ社会にしたい」と言ってみたとこで、さっぱり何のことが分からない。

インクルーシブな社会を具体的に説明すると少し長くなるが、「人は全員が違うということが大前提になっている配慮が行き届いており」、「誰もが自分らしく仲間として参加していると感じられる社会」ということだ。



カリフォルニア州での子育て

じつは今8歳になったダウン症があるニコを出産した米国カリフォルニア州の街が、そんな社会だったのだ。スペシャルニーズ（障がい）のある子を海外で育てられるだろうか？と初めは不安だったが、インクルーシブな環境が医療・福祉・教育現場そして人々の心にまで行き渡っていて、とにかく快適で安心な生活を送らせてもらった。

ニコが2歳になって帰国すると、日本は全然違う国のように感じられた。「基本的にみんな同じであることが前提」になっていて、「違う」というだけで色々困るのだ。

歩けない0・1歳はOKだというのに「2歳で歩けない子は預かれない」と保育園で断られた時は、驚いた。検診で母子手帳の「-はできますか？」というチェック項目を記入するよう言われ、全てにできないと回答しながら「成長に違いがあるって明らかな子の親に、これをチェックさせるのは何の意味があるのか？ 嫌がらせでしかない」と、その配慮のなさに不快な思いをした。

米国の公園では安全に遊べていたのに、日本の公園は危険すぎて遊ばせにくくて疲れ果てた。インクルーシブな教育環境を求めても、通常の学級に知的障害児は存在していないことになっているので、支援策がないと説明された。

今、都議会議員としてこういうひとつひとつの経験をもとに、「インクルーシブな社会」に向けて前向きな提案を続けている。保育所や学童クラブでの障がい児受け入れが進んでいるし、違いのあるお子さんの成長も祝福できる東京版の母子手帳を作り、日本初のインクルーシブ公園を整備し、インクルーシブ教育を進めている。スペシャルニーズだけにとどまらず、親子で移動しやすい子育て応援車両、LGBTQ等の性的マイノリティの方々が利用できるパートナーシップ制度など、「仲間になれていない人たちが、どうやったら参画できるか」という視点で政策に取り組んでいる。

ひとつひとつは小さい一歩かもしれない。しかし一歩ごとに「仲間」が増えていることを実感している。



## リゅうえん 龍 円 あいり

1977年 スウェーデン・ウプサラ市出身  
小中学校時代を東京、北海道、英国で過ごす  
法政大学法学部政治学科卒業

1999年 テレビ朝日入社 アナウンサー、報道記者として働く

2012年 米国カリフォルニア州へ移住

2013年 ダウン症のある長男を出産し、インクルーシブな社会に感銘を受ける

2017年 東京都議会議員選挙で初当選

2019年 日本最大の政策コンテスト「マニフェスト大賞」でグラプリを受賞



公式  
FACEBOOK



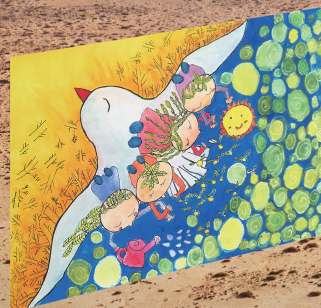
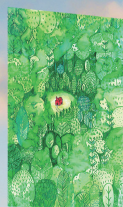
政治家龍円あいり  
ブログ



協賛企業

# すべてのいのちが輝く世界を 子どもたちの未来へ。

世界の子どもたちから届いた  
未来への切実な願いを叶えるために。  
私たちは、誰ひとり取り残すことなく  
すこやかで安心して暮らせる共生世界の  
実現をめざしていきます。



## 花王国際こども環境絵画コンテスト

KAO International Environment Painting Contest for Children

花王は2010年から毎年「花王国際こども環境絵画コンテスト」を実施し、10年間で約10万人を超える子どもたちの“未来”への想いに耳を傾けてきました。



## ハートポケット倶楽部

「花王ハートポケット倶楽部」は、2004年に始まり創立20年を迎える、社員の有志による寄付組織です。よりよい社会づくりをめざし、様々な団体を支援しています。



KAO

きれいを ところに 未来に





エニタイムフィットネスは「ヘルシアブレイス  
をすべての人々へ!」を理念とし「24時間営業」  
「年中無休」「マシンジム特化型」のフィットネ  
スジムを運営しています。  
誰もが運動を楽しみ、豊かに暮らせる社会の  
実現を目指す健康づくりのリーディングカンパ  
ニーです。



私たちはもっと開かれたフィットネスジムを目指して  
「OPENフィットネス宣言」をし、  
積極的に社会とつながる、  
さまざまなソーシャルアクションを行っております。

### ① だれもが安心して利用できる店舗

ハンディキャップをお持ちの方でも安心してフィットネスを楽しんで  
いただけるよう各店舗で不安解消のお手伝いをしています!  
視覚障がいをお持ちの方向けに目印を設置したり、車椅子の方で  
も使いやすい店舗の開発を行うなど店舗ごとに工夫をしています。  
「フィットネスに興味があるけど、通えるかな?」と不安をお持ちの  
方は、ぜひご相談ください!

### ② 障がい者雇用の高い定着率

エニタイムの一員として活躍いただく、障がい者雇用に積極的に  
行っています。快適なトレーニング環境を守る大切な「清掃エキス  
パート」として、関東圏では10名がスタッフとして活躍中です。個々  
の能力を活かしてお互いを尊重し、協働してヘルシアブレイスを提  
供しています。

### ③ ハイスクールパス (高校生無料利用制度)

部活や勉強、好きなコトに一生懸命な高校生。  
自分のカラダとココロにしっかりと向き合う時間が必要なこの時期  
に、運動をする場所が無く悩む高校生の為に、ヘルシアブレイスを  
届ける「ハイスクールパス」を実施しています。  
\*保護者が会員であれば、高校生は無料利用できる制度です。

エニタイムフィットネスの  
” 誰一人取り残さない “ 取り組み



## 障がいのある方が安心安全に働ける場所

わーくはびねす農園とは、障がいのある方が  
お野菜作りを通じて自分らしく安心して働ける場所です。  
重度の障がいがある方も生きいきと働いている  
「楽しく、やりがいをもって、夢中になれる仕事」にこだわり、  
農業での一般就労を実現しています。



## 勤務ポイント

- 給与  
【月給】約12～13万円
- 勤務時間  
・平日週5日  
・6時間～6時間15分勤務
- 待遇  
・交通費支給・社会保険完備
- 資格  
障害者手帳をお持ちの方  
(今後取得予定の方も可)
- 休日  
完全週休二日制(土日祝休み)  
GW・夏季・年末年始
- 福祉事業所ではなく、  
一般企業の従業員として勤務

全国に37農園展開!

定着率は92%!

重度の方も活躍中!

## ご家族インタビュー

### 知的障がいのある息子の居場所が見つかり安心できました



～ウィリアムズ症候群～ 知的障がいをともなう遺伝子疾患  
上谷周人さんとそのご家族

息子のような立場は高等部までは守られていますが、その先の人生の方が長いんです。だから、親としてその先を考えなきゃいけない。私たち親が元気な間はこの子と生きていけますが、そのあとどうするか・・・息子の将来、生きる場所が想像できなかったというのが不安だったんです。そんなときにわーくはびねす農園と出会い、働きだしてからの息子は様々なことで成長できたと実感しています。周りの方にも支えていただきながら、やっと息子の居場所が見つかったと安心しています。この先もずっと農園で元気に働き続けてほしいです。



動画のフルバージョンはこちら↑

うちの子も農園で一般就労できるの?と悩んでいる方は、  
是非弊社のHPをご覧ください。  
就業までのご案内や、農園の詳細等も記載しております。



## お問い合わせ

株式会社エスプールプラス  
プライム市場上場  
株式会社エスプール子会社  
有料職業紹介許可番号 13-1-305962



☎TEL:0120-997-212  
<受付>9:30～18:00(土日祝除く)

✉メールアドレス  
whf@spool.co.jp

🌐HP  
plus.spool.co.jp



コーポレートサイトはこちら↑





# NIKKEN SOGYO

日建総業 株式会社

全地球エコロジーに、  
少しでも寄与する為に  
人と環境に関わる  
アメニティを追求します。



## 「誰一人取り残さない」取組事例

### 新宿中央公園での取組

当社は人と環境に関わるアメニティの追及をもって社会的課題の解決に貢献することを事業目的としております。

当社が管理の一端を担う新宿中央公園では、障害者スポーツの体験などを通じて共生型社会の推進をサポートするイベント「ダイバーシティ・パーク」を年1回実施しております。

新型コロナの影響で中止が続いておりましたが、2022年10月には、3年ぶりに開催することができました。イベントを通じて障害者などマイノリティの立場に寄り添うことで共感を育みつつ、他方でLGBTQを含むジェンダー平等課題に触れる機会を創出しております。



### NIKKEN地下水膜ろ過システム

水資源の分野においては、地震に強い専用水道施設である「NIKKEN地下水膜ろ過システム」の設置を全国に展開しております。

震災等による断水からいち早く復旧できるシステムの長所を活かし、多くの医療機関や商業施設、公共施設に導入させていただきました。

施主様との契約に「災害時には無償で近隣住民に安全な飲料水を配布すること」を盛り込み、東日本大震災において数カ月の断水が発生した地域で実際にこの仕組みが活用されるなど、ライフライン拠点の確保に寄与しております。



### 日建総業株式会社 (NIKKEN SOGYO CO.,LTD.)

代表取締役 越川 淳

本店 東京都豊島区西池袋

資本金 2,500万円

創業 昭和16年10月01日

設立 昭和41年01月25日

事業内容 建物総合管理、公園緑地の維持管理、各種清掃、設備工事、障害福祉サービス等



日建総業 株式会社



協賛企業

# Toyota Mobility Tokyo

トヨタ モビリティ東京株式会社



当社マスコット  
『あんぜんナンバーワンくん』

“すべての人へ”  
移動の自由を...



都内、東西2カ所の  
福祉車両展示場で  
(ウェルキャブステーション)  
皆様をお待ちしております。



江戸川中央ウェルキャブステーション



東京都江戸川区中央 2-11-22  
TEL: 03-5678-1185  
FAX: 03-5678-1212

※詳しくはこちらのQRコードで  
ご確認いただけます。



府中の森ウェルキャブステーション

東京都府中市天神町 4-19-1  
TEL: 042-334-0431  
FAX: 042-330-5532

※詳しくはこちらのQRコードで  
ご確認いただけます。



# A D A S T R I A

アダストリアは、グローバルワークやニコアンドなど30以上のブランドを展開するカジュアルファッション専門店チェーンです。すべての人がファッションを通じてそれぞれの人生を楽しむことができるよう、事業を通じて応援します。

MISSION

*Play fashion!*

ファッションは、毎日をワクワクさせること  
ファッションは、誰かと新しいものを創ること  
ファッションは、それぞれの人生を楽しむこと

## アダストリアのサステナビリティ

### ファッションのワクワクを、未来まで。

ファッションには、一人ひとりの毎日を前向きにしてくれるパワーがある。この先もずっと、ファッションでワクワクできるように。環境、人、地域のために、私たちが楽しくみながらできることからはじめよう。楽しむことが、続けられるいちばんの力だから。



## 重点テーマに基づくSDGs

### 環境を守る



事業による環境負荷を低減させ、ファッションの世界をサステナブルにします。

### 人を輝かせる



お客さまも、従業員も、関わる誰もが毎日ワクワクできる環境をつくります。

### 地域と成長する



地域社会と共生し、ともに新しい価値を創ります。



## アダストリアグループの「誰一人取り残さない」for ALLな取り組み

### ”誰もが同じではない”という当たり前を、新たなスタンダードに

*Play fashion!* **for ALL**  
スタンダードを、変えていこう、広げていこう。



アダストリアでは、誰もが自分らしくファッションを楽しむ、それぞれのもつ個性を輝かせることができる社会の実現に向けて様々な取り組みを行っています。障がいの有無、年齢、ジェンダー等に関わらず、すべての方を孤立させず包摂することを目指すインクルーシブファッションプロジェクト「Play fashion! for ALL」を通じて、「誰もが同じではない」という当たり前をファッションにもっと取り入れながら、新たなスタンダードを創り上げていきたいと考えています。



Instagram



特設サイト

## ローリーズファームキッズでのファッションを通じた社会貢献活動

大人服をそのまま小さくしたような、リトルガール&リトルボーイの洋服を提案するローリーズファームキッズでは、誰もが活躍できる場の実現と人と人の輪が広がるきっかけになればという思いから、発達障害をもちながらも独創的な世界観で唯一無二の作品を生み出すアーティスト・須田雄真さんとのコラボレーションアイテムを販売しています。売上の一部はNPO法人フローレンスへ寄付し、障害児保育事業に活用いただいています。



Instagram



公式WEBストア



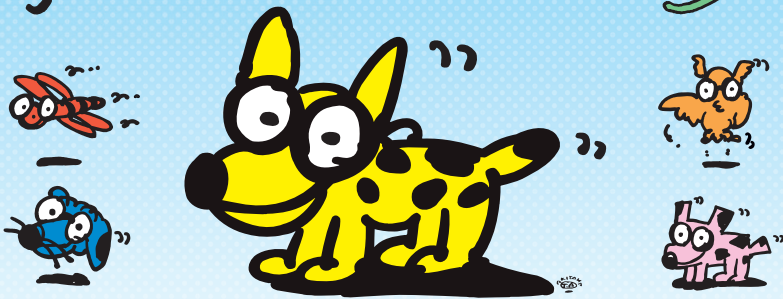
サステナビリティに関するその他の取り組みはこちらからご覧いただけます。

<https://www.adastria.co.jp/sustainability/>





# こどもメガネ アンファン



## かわいくて自慢したくなるメガネがいっぱい!

〈こどもメガネ アンファン〉は、お子さまの目の正しい発達を助ける弱視治療用メガネや、関連商品を多数ご用意しております。

### 下にズレない調整

- 安定性のある鼻パッドに交換  
ツインパッドはシリコン素材が鼻をベルト状に覆い、ピタッと鼻にフィットしずれにくくなります。
- 鼻パッドの位置をベストポジションに合わせる



### 前にズレない調整

- 耳かけパーツのバリエーションが選べる  
各種ケーブル ▶ 2段階曲げ
- 耳かけ部分を耳の付根に正確に合わせる



### スタッフの確かな技術

高度な技術研修を受けた専門スタッフが調整を承ります。適切なサイズ選びと、相互確認方式でお一人おひとりに合わせた正確な調整技術が大切です。

メガネの  
調整・点検  
いつでも承ります

- 伊勢丹新宿店
- 銀座三越店
- 渋谷本店
- 東急百貨店たまプラーザ店
- イトーヨーカドー亀有駅前店
- 東武百貨店池袋店
- 北千住マルイ店
- 伊勢丹立川店
- コピス吉祥寺店
- セレオ八王子店
- 町田東急ツインズ店
- 高島屋玉川店
- 高島屋横浜店
- 湘南藤沢オーパ店
- 伊勢丹浦和店

# ENFANT Buddy

ダウン症のあるこどもたちのためのメガネ アンファンバディです。

いっぱい動いてもズレにくいよ!

ダウン症のあるお子さまの、お鼻の位置、高さに配慮した鼻パッドを採用しています。調節範囲が広く、鼻パッド足を調整することで最適ポジションになります。



### アンファンバディ チャイルド

42□13/44□15 — 24,200円(税込)

目安  
3歳～6歳頃



### アンファンバディ ジュニア

47□15 — 24,200円(税込)

目安  
7歳～10歳頃



## 2023年 春

### ニューモデル発売予定!

詳しくはアンファン公式サイトをご覧ください。



かわいいプラスチックフレームが発売されます!

目安  
3歳～6歳頃  
チャイルド

### アンファンバディ ティーンズ

49□15 — 25,300円(税込)

目安  
11歳頃～



下記店舗のほか、オグラ眼鏡店のアンファンコーナーでもお求めいただけます。

- そごう千葉店
- 高島屋柏店
- シャポー市川店
- 高島屋大阪店
- 大丸梅田店

その他商品・店舗の案内・最新の情報は、  
WEBサイト&SNSをご覧ください。

<https://enfant-megane.com/> 公式サイト





acceptions

NPO法人アクセプションズ

アクセプションズは  
インクルーシブな社会の実現のためにさまざまな活動を実施しています

「啓発イベント」ダウン症の一般の理解を促進するイベント  
「研修・勉強会」ダウン症のある方の教育や就労、QOLの向上に関する勉強会・研修  
「情報発信」SNSやメールマガジンを通じたダウン症に関する情報発信  
「コラボレーション」さまざまな企業・団体とのコラボレーションによる共同作業



## バディウォーク®とは

バディウォーク®とはNDSS<全米ダウン症協会>により1995年10月に「ダウン症 啓蒙月間」の一環としてニューヨークで始められました。ダウン症の人たちと共に歩くチャリティーウォキングイベントです。(バディ=仲間)

ダウン症への理解と受容、社会的な平等を促進することが目的で、今では全国各地で開催されています。

## ダウン症のある人のためのイベントなの？！ ～誰一人取り残さない社会のために～

ダウン症のある人に限らず、誰もがお互いを尊重し支え合い、人々の多様な在り方を認め合える「共生社会」という考え方を、広げることが目的にしたいという思いから「バディウォーク東京 for all」と名付けました。

障がいのある・なし、年齢、国籍、職業...いろんな個性が、私たちの社会を彩ります。誰もが気軽に、楽しく参加できるこのチャリティーイベントをきっかけに、「共に生きること」「お互いを知ること」の心の壁を少しずつ取り除いていけたらと願っています。

## 冊子制作の趣旨

### 「渋谷にインクルーシブの種を蒔こう」

年に一度のイベントだけではなく、誰一人取り残さない共生社会(インクルーシブ社会)にご賛同いただける渋谷区内の企業や店舗に、こちらの冊子を置いていただき来店者に無料で配布しています。協力店舗は年々増やしていき、バディウォーク東京を地域のみならずとも、発信していく新しい一歩を踏み出します。また障がいのある子とない子の交流の機会をもつための試みとして、渋谷区内のゴミ拾いを実施しました。

## 冊子「知らないを知ることがぼくらを作ってく」


今お手にとりいただいたこの冊子は、バディウォーク東京の「共生社会、インクルーシブ社会」について知るきっかけになる内容です。文字は誰にとっても見やすく読みやすいユニバーサルデザインフォント(UDフォント)を使用しています。漢字を読むのが難しい方にも読んでいただけるようにふりがなを振り、表紙のQRコードを読み込むと英訳のページを見ることができます。

## 協賛企業一覧

後援

東京都

渋谷区

公益財団法人日本ダウン症協会 

Pioneer

NPO法人アクセプションズ 

Special Thanks

一般社団法人COMUGICO 


後援・助成団体

社会福祉法人テレビ朝日福祉文化事業団 


Platinum Sponsor


花王ハートポケット倶楽部 


花王株式会社 


エニタイムフィットネス 


Gold Sponsors

株式会社エスプールプラス 


日建総業株式会社 


トヨタモビリティ東京株式会社 

株式会社アダストリア 


株式会社オグラ(アンファン) 

Silver Sponsors

株式会社SHEM(スージー) 

スペシャル・ビューティー・ジャパン 

meetme.egao

東急株式会社 

Bronze Sponsors

株式会社Regalo

株式会社エイト

株式会社アルピノ

株式会社ゴンウェブイノベーションズ

一般社団法人ウェブコンサルタント・ウェブアドバイザー協会

株式会社 Happy Sweets Japan

行政書士事務所 和(なごみ)

アライズケアスポーツ整骨院

NPO法人イコールハート

ここにご教室

株式会社ナゴウェブ

特定非営利活動法人しんせい

株式会社RUNWAYS

ご協力団体

GATE株式会社

(順不同)

紙面デザイン：miwa



ハリーとけいこ

かのんの叔母で、現在イギリス在住。  
けいこが翻訳しています。

Harry and Keiko

Kanon's aunt currently lives in the UK.  
English translation by Keiko.

こちらのQRコードから、

本内容の英訳がご覧になれます。

Please scan the qr code for English translation.

